

(総則)

第1条 この規程は、追手門学院大学学則(以下「学則」という。)に基づいて、追手門学院大学国際教養学部規程において必要な事項を定める。

(学部・学科の目的)

第2条 国際教養学部は、国際教養学科と国際日本学科を置く。

2 国際教養学部は、現代社会の理解と創造に役立つ情報文化と21世紀の国際社会に広く通用する国際語学を中心に教育を行い、生活基盤としての基礎教養文化(コモン・リベラル・アーツ)の上に、より多様化し複雑化する社会や文化に対する的確な理解及び情報の適切な選択と発信の能力を涵養し、もって現代に通用する生きた教養を備えた社会有為の人材の育成を目的とする。

国際教養学科では、1)国際的に通用する教養と実践的な英語力をもった人材、2)英語をコミュニケーションツールとし、国際的な視野に立って自国文化を眺め、自国文化との関係の中で、グローバル社会の諸問題をより多角的かつ客観的に把握し、それを解決する方策を導き出すことのできる人材の養成を目的とする。

国際日本学科では、1)日本の文化を深く理解し、相対的で客観的な異文化理解ができる人材、2)日本語と外国語を用いて、自らの考えを国際的に発信する力のある人材、3)「国語」又は「外国語」としての日本語を教育することのできる人材の養成を目的とする。

(定員)

第3条 本学部に置く学科の学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
国際教養学科	150名	5名	610名
国際日本学科	180名	5名	730名
計	330名	10名	1,340名

(学年及び学期)

第4条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年は、春学期と秋学期の2学期に分け、期間については別に定める。

(休業日)

第5条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日
- (3) 学院創立記念日(5月29日)
- (4) 本学が定めた夏期、冬期及び春期休業日

2 前項第4号の休業期間は本学学年暦による。

3 学長は、休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

(授業科目及び履修方法)

第6条 基盤教育科目、学科科目及び資格取得に関する科目に分ける。

2 基盤教育科目は、ファウンデーション科目群、リベラルアーツ・サイエンス科目群、主体的学び科目群に区分する。

第7条 必修科目、全員履修科目、選択科目及び自由科目に分ける。

2 自由科目は、必修科目及び選択科目(選択必修科目、選択科目)以外の科目であり、卒業要件単位とはならない科目である。

第8条 各学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

学科	単位数
国際教養学科	124単位
国際日本学科	124単位

第9条 国際教養学部における授業科目及びその単位数は、別表 I及び学科共通履修細則に定める。

2 履修の詳細については、各学科の履修細則による。

第10条 授業科目は、学部の定める履修方法に従って、所定の単位を修得しなければならない。なお、本学部における所定の単位数は次のとおりとする。

学科	授業科目	単位数
国際教養学科	基盤教育科目	28単位以上
	学科科目	56単位以上

国際日本学科	基盤教育科目	28単位以上
	学科科目	66単位以上

2 各学科における学科科目及び単位数は、別表 I のとおりとする。

第11条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

(1) 国際教養学科

(イ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者以外の学生

授業科目	履修区分	分類		卒業に必要な単位数				
学科科目	必修	必修科目群	演習		8単位	22単位	56単位以上	124単位以上
			専修英語		14単位			
	選択必修	共通科目群	選択必修A(グローバル・イシュー)			4単位以上		
			選択必修B(実践英語)		「自律学習法演習1」は1年次に全員履修とする	4単位以上		
			選択必修C(共通)		「留学事前演習」は1年次に全員履修とする	14単位以上		
			コース科目群	グローバルリーダーコース科目群	選択必修リーダーA			
		選択必修リーダーB				6単位以上		
		選択必修リーダーC				2単位以上		
		グローバルキャリアコース科目群		選択必修キャリアA		4単位以上		
				選択必修キャリアB		6単位以上		
				選択必修キャリアC		2単位以上		
		グローバルコミュニケーションコース科目群		選択必修コミュニケーションA		4単位以上		
				選択必修コミュニケーションB		6単位以上		
				選択必修コミュニケーションC		2単位以上		
		選択	選択科目群	留学・他		「新入生演習」、「Summer Intensive Session」、「Spring Session」は一年次に全員履修とする		
	国際日本学科選択科目							
	基盤教育科目	選択	ファウンデーション	初年次科目		「数的処理入門」は一部学生を除き1年次に全員履修とする		28単位以上

		ン科目群		「日本語表現」は1年次に全員履修とする		
	選択必修		外国言語科目	英語	「総合英語1」「総合英語2」「Online English Seminar 1」「Online English Seminar 2」は必修とする	6単位以上
	選択			ドイツ語		
				フランス語		
				中国語		
			体育科目			
	選択必修	リベラルアーツ・サイエンス科目群	リベラルアーツ・サイエンス系科目		8単位以上	
			人文学系科目			
			社会科学系科目			
			自然科学系科目			
	選択	主體的学び科目群	キャリア形成系科目		「追手門アイデンティティ」は1年次に全員履修とする	
			キャリア展開系科目			
			別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める			
			大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める			

(ロ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者

授業科目	履修区分	分類		卒業に必要な単位数		
学科科目	必修	必修科目群	演習	8単位	22単位	56単位以上
			専修英語	14単位		
	選択必修	共通科目群	選択必修A(グローバル・イシュー)		4単位以上	124単位以上
			選択必修B(実践英語)	「自律学習法演習1」は1年次に全員履修とする	4単位以上	
			選択必修C(共通)	「留学事前演習」は1年次に全員履修とする	14単位以上	
	選択必修	コース科目群	グローバルリーダーコース科目群	選択必修リーダーA		4単位以上
				選択必修リーダーB		6単位以上
				選択必修リーダーC		2単位以上
			グローバルキャリアコース科目群	選択必修キャリアA		4単位以上
			選択必修キャリアB		6単位以上	

				選択必修 キャリア C		2単位以 上		
			グローバル コミュニ ケーション コース 科目群	選択必修 コミュニ ケーショ ンA		4単位以 上		
				選択必修 コミュニ ケーショ ンB		6単位以 上		
				選択必修 コミュニ ケーショ ンC		2単位以 上		
	選択	選択科目 群	留学・他		「新入生演習」、「S ummer Intensive Ses sion」、「Spring Se ssion」は1年次に全 員履修とする			
			国際日本学科選択科 目					
基盤教育 科目	選択	ファウン デーション 科目群	初年次科目		「数的処理入門」は一部学生を 除き1年次に全員履修とする 「日本語表現」は1年次に全員履 修とする		28単位以 上	
	選択必修		外国言語 科目	日本語	「日本語読解中級1・ 2」「日本語聴解中級 1・2」は1年次に、 「日本語読解上級1・ 2」「日本語聴解上級 1・2」は2年次に全員 履修とする。			4単位以 上
				英語	「総合英語1」「総合 英語2」「Online Eng lish Seminar 1」「O nline English Semin ar 2」は必修とする			6単位以 上
	選択			ドイツ語				
			フランス 語					
			中国語					
				体育科目				
	選択必修		リベラル アーツ・ サイエン ス科目群	リベラルアーツ・サ イエンス系科目	8単位以上			
				人文学系科目				
				社会科学系科目				
		自然科学系科目						
選択	主体的学 び科目群	キャリア形成系科目	「追手門アイデンティティ」は1 年次に全員履修とする					
必修			「日本事情1」「日本 事情2」は必修とす る。		4単位			
選択		キャリア展開系科目						
		別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定 める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は 最大4単位まで卒業に必要な単位として認める						
		大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した 単位は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める						

(2) 国際日本学科

(イ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者以外の学生

授業科目	履修区分	分類	卒業に必要な単位数						
学科科目	必修	必修科目群	演習	12単位	18単位	58単位以上	66単位以上	124単位以上	
			研究	4単位					
			コース基礎科目	2単位					
	選択必修	共通科目群	日本語・日本文化科目	「日本語ワークショップ」は1年次に全員履修とする	16単位以上	4単位以上	20単位以上		
			外国語・外国文化科目						
		コース科目群	クールジャパン学コース科目	該当するコース科目に掲げる科目から「フィールドワーク科目」又は「ワークショップ科目」2単位以上を含む計10単位以上を修得すること。					
			笑学コース科目						
			日本学コース科目						
		選択	選択科目群	国際日本学科選択科目	「新入生演習」は1年次に全員履修とする				
	国際教養学科選択科目								
基盤教育科目	選択	ファウンデーション科目群	初年次科目	「数的処理入門」は一部学生を除き1年次に全員履修とする 「日本語表現」は1年次に全員履修とする		28単位以上			
	選択必修		外国言語科目	英語 「総合英語1」「総合英語2」「Online English Seminar 1」「Online English Seminar 2」は必修とする					6単位以上
	選択		ドイツ語						
			フランス語						
			中国語						
	選択必修		リベラルアーツ・サイエンス科目群	リベラルアーツ・サイエンス系科目 人文学系科目					

			社会科学系科目			
			自然科学系科目			
選択	主体的学び科目群	キャリア形成系科目	「追手門アイデンティティ」は1年次に全員履修とする			
		キャリア展開系科目				
		別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める				
		大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める				

(ロ) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者

授業科目	履修区分	分類		卒業に必要な単位数					
学科科目	必修	必修科目群	演習	12単位	18単位	58単位以上	66単位以上	124単位以上	
			研究	4単位					
			コース基礎科目	2単位					
	選択必修	共通科目群	日本語・日本文化科目	「日本語ワークショップ」は1年次に全員履修とする	16単位以上	20単位以上			
			外国語・外国文化科目		4単位以上				
		コース科目群	クールジャパン学コース科目	該当するコース科目に掲げる科目から「ワールドワーク科目」又は「ワークショップ科目」2単位以上を含む計10単位以上を修得すること。					
			笑学コース科目						
	選択	選択科目群	国際日本学科選択科目	「新入生演習」は1年次に全員履修とする					
			国際教養学科選択科目						
	基盤教育科目	選択	ファウンデーション科目群	初年次科目	「数的処理入門」は一部学生を除き1年次に全員履修とする 「日本語表現」は1年次に全員履修とする		28単位以上		
選択必修		外国言語科目		日本語	「日本語読解中級1・2」「日本語聴解中級1・2」は1年次に、「日本語読解上級1・2」「日本語聴解上級1・2」は2年次に全員履修とする	4単位以上			
選択				英語					

			ドイツ語		
			フランス語		
			中国語		
			体育科目		
選択必修	リベラル アーツ・ サイエンス 科目群	リベラルアーツ・サイエンス系科目			8単位以上
		人文学系科目			
		社会科学系科目			
		自然科学系科目			
選択	主体的学 び科目群	キャリア形成系科目	「追手門アイデンティティ」は1年次に全員履修とする		
必修				「日本事情1」「日本事情2」は必修とする	4単位
選択		キャリア展開系科目			
		別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める			
		大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位は最大4単位まで卒業に必要な単位として認める			

(教職課程)

第12条 卒業後、中学校並びに高等学校の教員免許状を得ようとする者のために教職課程を置く。

2 教職課程の履修方法は、別に定める。

(学芸員及び社会教育主事の資格取得)

第13条 卒業後、学芸員及び社会教育主事の資格を得ようとする者のために、これに必要な科目を設ける。

2 学芸員及び社会教育主事資格取得のための履修方法は、別に定める。

(単位及び授業の方法)

第14条 各授業科目の単位は、1単位の授業科目には45時間の学修を要することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業科目による教育効果及び授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で行われる授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で行われる授業をもって1単位とする。

(3) 1の授業について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、[前2号](#)に規定する基準を考慮して定められた時間の授業をもって1単位とする。

(4) [前3号](#)の規定にかかわらず、卒業研究については、4単位とする。

2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

3 [前項](#)に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所(外国を含む)において履修させることがある。

4 [前項](#)の規定により修得した単位数は、合わせて60単位を超えない範囲で卒業に要する単位に算入することができる。

5 [第3項](#)の規定により実施する授業科目については、学期ごとに別に定める。

6 本学部は、文部科学大臣が別に定めるところにより、[第2項](#)に規定する授業の一部を、校舎及び付属施設以外の場所(外国を含む)で行うことができる。

第15条 その年度に開講する授業科目は、毎学年始めに発表する。

第16条 各授業科目の授業は、10週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(履修の制限)

第17条 各学期において履修できる単位数の制限は、別に定める。

(履修の届出)

第18条 学生は、各学期の履修において、所定の期間に履修登録手続きを行わなければならない。なお、履修手続きについては、別に定める。

2 履修登録手続きをしない者は、当該科目の授業及び試験を受けることができない。

(科目修了の認定)

第19条 科目修了の認定は、試験によるほか、平素の成績を総合的に評価して行う。

2 成績評点は、100点を満点とし、60点以上を合格とする。

3 合格を得た科目に対しては、所定の単位を与える。

第20条 各科目とも出席すべき授業時数の3分の1以上欠席した者は、原則として科目修了の認定を受けることができない。

第21条 科目修了の認定を得た科目は、再度履修することができない。

(卒業及び学位)

第22条 本大学に4年以上在学し、所定の課程を修めた者をもって、卒業したものとす。

2 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。

国際教養学部

国際教養学科 学士(国際教養学)

国際日本学科 学士(国際教養学)

(入学)

第23条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

第24条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。なお、検定の方法は、別に定める。

2 入学は、学部会議の意見を聴き学長が決定する。

第25条 入学を希望する者は、学科を指定しなければならない。

第26条 所定の期日までに定められた入学手続を履行しない者は、入学の許可を取り消す。

(編入学又は他大学からの転学)

第27条 本大学の第3年次へ編入学又は他の大学からの転学は、選考の上、これを許可することがある。

2 前項の取り扱いについては、別にこれを定める。

第28条 前条により編入学又は転学を許可された者は、修業年限は2年とし、在学年限は4年を超えることができない。

(転学部及び転学科)

第29条 本大学の他学部への転学部及び他学科への転学科は、欠員がある場合に限り、選考の上、第2年次又は第3年次の始めにおいて許可することがある。

(休学)

第30条 病気その他やむを得ない理由で修学できない場合は、保証人連署の上、休学願を学部長に提出し、その許可を得てその学期又はその年度を休学することができる。ただし、病気の場合は、医師の診断書を添えなければならない。

2 休学の期間は、引き続き2年を超えることができない。

3 休学の期間は、通算して3年を超えることができない。

4 休学の期間は、在学年数に算入しない。

第31条 休学の理由が消滅し、復学しようとするときは、復学願を学部長に提出し、その承認を得なければならない。

第32条 休学中は、授業料その他の学費を減免する。

2 前項により減免する授業料その他の学費及びその額は、別にこれを定める。

(退学)

第33条 退学しようとする者は、その事由を具して保証人連署の上、学長に願い出て許可を受けなければならない。

第34条 前条により退学した者又は除籍された者が同一の学科に再入学を願い出たときは、退学又は除籍後2年以内のみに限り、選考の上、許可することがある。ただし、学則第66条第1号の規定により除籍された者は、再入学を許可しない。

(他大学への入学及び転学)

第35条 他の大学へ入学又は転学を志望するときは、学長の許可を受けなければならない。

(委託生)

第36条 学校、官庁その他公共団体から特定の授業科目を指定して修学を委託されたときは、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

(科目等履修生)

第37条 本大学の学生以外の者で、特定の授業科目を指定して履修を願い出る者があるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

(聴講生)

第38条 本大学の学生以外の者で、特定の授業科目を指定して聴講を願い出る者があるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

(委託生、科目等履修生及び聴講生の入学資格)

第39条 委託生、科目等履修生及び聴講生の入学資格は、学則第29条の定めるところによる。

(研究生)

第40条 本学部において研究を希望する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

(外国人特別学生)

第41条 外国人で、[学則第29条](#)に定める資格を有する者が、[学則第30条](#)によらないで、本邦所在の外国公館の推薦により出願するときは、選考の上、外国人特別学生として入学を許可することがある。

第42条 委託生、科目等履修生、聴講生、研究生及び外国人特別学生に関する規則は、[学則](#)及び本規程に定めるもののほか、別に定める。

(入学金及び授業料等)

第43条 本大学に入学を許可された者は、入学金及び所定の学費を納付しなければならない。

第44条 学生は、授業料その他所定の学費を納付しなければならない。

第45条 委託生は研修指導費、科目等履修生は履修料、聴講生は聴講料、研究生は研究指導費を納付しなければならない。

第46条 入学金、授業料、教育充実費、研修指導費、履修料、聴講料、研究指導費の金額及び徴収については、別にこれを定める。

第47条 既納の入学金、授業料その他の学費、研修指導費、履修料、聴講料、審査料及び研究指導費は、いかなる事情があっても返付しない。

第48条 本大学に入学を許可された者が入学時に指定の期日までに入学辞退を申し出た場合は、[前条](#)の規定にかかわらず、その請求により授業料その他の学費を返付する。

(委員会)

第49条 本学部に必要に応じ各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は、別に定める。

(賞罰)

第50条 学生で特に他の学生の模範とすべき行為のあったときは、表彰することがある。

第51条 学生で本大学の規則若しくは命令に違背し、又は学生の本分に反する行為があったときは、その軽重に従ってこれを懲戒する。懲戒処分の手続については別に定める。

2 懲戒は、戒告、停学及び退学とする。

3 [前項](#)の退学は、[次の各号](#)の一に該当する者について行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第52条 学生で学力劣等にして成業の見込みがないと認められる者又は正当の理由がなく出席が常でない者は、学部会議の議を経て、これを退学させる。

(除籍)

第53条 学生で[次の各号](#)の一に該当する者は、これを除籍する。

(1) 在学8年を超える者

(2) 休学期間が通算3年を超える者

(3) 疾病その他の事故により成業の見込みがないと認められる者

(4) 授業料その他学費を督促しても納付しない者

(5) 在留資格がない者

(その他)

第54条 [学則](#)及びこの規程に定めのない事項については、学部会議がこれを定める。

附 則

この規程は、2007年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2008年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2008年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2009年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2009年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2013年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2014年1月9日から施行する。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2015年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2016年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2017年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2017年7月1日から施行する。

附 則
この規程は、2018年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2019年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2020年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2020年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2023年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2024年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2025年4月1日から施行する。

附 則
この規程は、2026年4月1日から施行する。

別表 I (第9条関係)

(1) 国際教養学科 開講科目表

履修区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	演習	Research Project1	2					○	○	8単位	「Research Project1」を修得済みの場合、履修することはできない。
		プロジェクト1	2					○	○		
		Research Project2	2					○	○		
		プロジェクト2	2					○	○		
		Research Project3	2						○		
		プロジェクト3	2						○		
		Research Project4	2						○		
		プロジェクト4	2						○		
専修英語		Reading1 (EAP)	2			○	○	○	○	14単位	Reading1・2及びWriting1・2の授業については、English1・2の再履修クラス担当
		Reading2 (EAP)	2			○	○	○	○		

		Writing1(EAP)	2			○	○	○	○		者が担当し、授業内容もEnglish1・2と同様とする。	
		Writing2(EAP)	2			○	○	○	○			
		English1(Reading & Writing)	4			○	○	○	○			
		English2(Reading & Writing)	4			○	○	○	○			
		English Communication1	4			○	○	○	○			
		English Communication2	4			○	○	○	○			
		Communication(EAP)	4				○	○	○	職・科		
		English3(Communication)	4				○	○	○			「Communication(EAP)」を修得済みの場合、履修することはできない。(再履修者クラス)
		Speech and Presentation(EAP)	2				○	○	○			
		English4(Speech and Presentation)	4			○	○	○	○			English4の再履修クラス担当者が授業を担当し、内容もEnglish4の半期分と同様とする。
選択必修A	グローバルイシュー	グローバル・イシュー1：ことばと人	2				○	○	○	4単位以上		
		グローバル・イシュー2：社会と文化	2				○	○	○			
		グローバル・イシュー3：異文化と共生	2				○	○	○			
		グローバル・イシュー4：政治と経済	2				○	○	○			
		Global Studies3	2				○	○	○			
		Global Studies4	2				○	○	○			
		国際事情	4				○	○	○	大学が認めた留学生専用科目		
選択必修B	実践英語	Discussion and Debate	2				○	○	○	4単位以上		
		Critical Thinking Workshop	2				○	○	○			
		Advanced English2(クリティカルシンキング演習)	2				○	○	○		「Critical Thinking Workshop」を修得済みの場合、履修できない。	
		Problem Solving Workshop	2				○	○	○			
		自律学習法演習1	2			○	○	○	○			
		自律学習法演習2	2				○	○	○			
		Negotiation English	2				○	○	○	学部が認		

											めた学専科 用科目	
		Advanced English1 (プレゼンテーション 演習)	2			○	○	○				
		Advanced English3 (資格英語演習)	2			○	○	○				
		Advanced English4 (アカデミックライテ ィング演習)	2			○	○	○				
		国際表現演習	4			○	○	○			大学 が認 めた 留学 専科 用科目	
		English for Caree r Development1	2			○	○	○	○			
		English for Caree r Development2	2			○	○	○	○			
		English for Caree r Development3	2			○	○	○	○			
選択 必修C	共通	英語学概論1	2			○	○	○	科	14単 位以 上		
		英語学概論2	2			○	○	○	科			
		英語音声学1	2			○	○	○	科			
		英語学概説1	2			○	○	○	科			「英語音声学1」 を修得済みの場 合、履修できな い。
		英語音声学2	2			○	○	○	科			
		英語学概説2	2			○	○	○	科			「英語音声学2」 を修得済みの場 合、履修できな い。
		言語情報処理概論1	2			○	○	○				
		言語情報処理概論2	2			○	○	○				
		英語学講義1	2			○	○	○	科			
		英語学講義2	2			○	○	○	科			
		英文学概論1	2			○	○	○	科			
		英文学概論	2			○	○	○	科			「英文学概論1」 又は「英文学概 論2」を修得済み の場合、履修で きない。
		英文学概論2	2			○	○	○	科			
		米文学概論1	2			○	○	○	科			
		米文学概論	2			○	○	○	科			「米文学概論1」 又は「米文学概 論2」を修得済み の場合、履修で きない。
		米文学概論2	2			○	○	○	科			
		イギリス文化講義	2			○	○	○	科			
		アメリカ文化講義	2			○	○	○	科			
イギリス史	2			○	○	○	科					

アメリカ史		2			○	○	○	科		
イギリス歴史・文化講義		2			○	○	○	科		「イギリス史」又は「イギリス文化講義」を修得済みの場合、履修できない。
アメリカ歴史・文化講義		2			○	○	○	科		「アメリカ史」又は「アメリカ文化講義」を修得済みの場合、履修できない。
情報科学各論1		2			○	○	○			
情報科学各論2		2			○	○	○			
ICTと英語研究		2			○	○	○			
ICTとイノベーション		2			○	○	○			
ICTと英語教育		2			○	○	○			
留学事前演習		2		○	○	○	○		留学事前演習は1次に全履とる	
留学特別演習1		2			○	○	○		学部が認められた留学生のみ履修可	
留学特別演習2		2				○	○			
国際関係演習1		6			○	○	○			
国際関係演習2		6			○	○	○			
国際コミュニケーション論		4			○	○	○		大学が認められた留学専科目	
国際特別演習		4			○	○	○			
国際研究演習1		4			○	○	○			
国際研究演習2		4			○	○	○			
異文化交流1		6			○	○	○			
異文化交流2		6			○	○	○			
グローバルリベラルアーツ1		2			○	○	○			
グローバルリベラルアーツ2		2			○	○	○			
グローバルリベラルアーツ3		2			○	○	○			
グローバル言語特殊講義Ⅰ		2				○	○			
グローバル言語特殊講義1		2				○	○			「グローバル言語特殊講義Ⅰ」を修得済みの場合、履修できない。
グローバル言語特殊講義Ⅱ		2				○	○			
グローバル言語特殊講義2		2				○	○			「グローバル言語特殊講義Ⅱ」を修得済みの場

		国際・地域交流論(基礎)		2			○	○	○					
		国際・地域交流論(展開)		2			○	○	○					
		国際・地域交流論(特殊講義)		2			○	○	○					
	選択必修キャリアC	他コースの選択必修Bの科目群									2単位以上			
グローバルコミュニケーションコース	選択必修コミュニケーションA	グローバルコミュニケーションESP1 (Academic reading)		2			○	○	○		4単位以上			
		グローバルコミュニケーションESP2 (Academic writing)		2			○	○	○					
		グローバルコミュニケーションESP3 (Academic listening)		2			○	○	○					
		グローバルコミュニケーションESP4 (Academic speaking)		2			○	○	○					
		グローバル言語特殊講義Ⅲ		2					○	○				
		グローバル言語特殊講義3		2						○		○		「グローバル言語特殊講義Ⅲ」を修得済みの場合、履修できない。
		グローバル言語特殊講義Ⅳ		2						○		○		
		グローバル言語特殊講義4		2								○	○	
	選択必修コミュニケーションB	英語と世界の言語		2				○	○	○		6単位以上		
		日本文学を英語で読む		2				○	○	○				
宗教文化とグローバル化			2				○	○	○					
世界関係論			2				○	○	○					
国際・地域言語表現論(基礎)			2				○	○	○					
国際・地域言語表現論(展開)			2				○	○	○					
国際・地域言語表現論(特殊講義)			2				○	○	○					
選択必修コミュニケーションC	他コースの選択必修Bの科目群										2単位以上			

選択	留学・他	新入生演習		2	○					1年に 全員履修 とする		
		Summer Intensive Session		4	○	○	○	○				
		Spring Session		4	○	○	○	○				
	国際日本学科 選択科目	日本語学概説1		2	○	○	○	○				
		日本語学概説2		2	○	○	○	○				
		日本語のための古典1		2	○	○	○	○				
		日本語のための古典2		2	○	○	○	○				
		国語学1(音声言語)		2		○	○	○				
		日本語学1(音声・音韻)		2			○	○				「国語学1(音声言語)」を修得済みの場合、履修することはできない。
		国語学2(文章表現)		2		○	○	○				
		日本語学2(文法)		2			○	○				「国語学2(文章表現)」を修得済みの場合、履修することはできない。
		応用日本語1		2		○	○	○				
		応用日本語2		2		○	○	○				
		日本文学史1		2		○	○	○				
		日本文学史1(古典)		2			○	○				「日本文学史1」を修得済みの場合、履修することはできない。
		日本文学史2		2		○	○	○				
		日本文学史2(近現代)		2			○	○				「日本文学史2」を修得済みの場合、履修することはできない。
		日本文学概説1		2		○	○	○				
		日本文学概論1		2			○	○				「日本文学概説1」を修得済みの場合、履修することはできない。
		日本文学概説2		2		○	○	○				
		日本文学概論2		2			○	○				「日本文学概説2」を修得済みの場合、履修することはできない。
		日本史概説1		2		○	○	○				
	日本史概説2		2		○	○	○					
国語学史		2		○	○	○						
日本語史		2			○	○				「国語学史」を修得済みの場合、履修することはできない。		
アニメ文化論		2		○	○	○						
日本文学3(超域)		2			○	○				「アニメ文化論」を修得済みの場合、履修することはできない。		

漫画文化論		2		○	○	○		
世界のポップカルチャー		2		○	○	○		
ポップカルチャー論		2			○	○		「世界のポップカルチャー」を修得済みの場合、履修することはできない。
ゲームシナリオ論		2		○	○	○		
中国から見た日本		2		○	○	○		
韓国から見た日本		2		○	○	○		
旅と温泉		2		○	○	○		
海外の日本文学研究		2		○	○	○		
世界のユーモアと日本の笑い		2		○	○	○		
笑いとコミュニケーション		2		○	○	○		
落語の世界		2		○	○	○		
漫才の世界		2		○	○	○		
狂言の世界		2		○	○	○		
人形浄瑠璃文楽の世界		2		○	○	○		
大阪の文学		2		○	○	○		
大阪文化史演習		2		○	○	○		
笑いをマネジメントする		2		○	○	○		
アジアの中の日本1		2		○	○	○		
アジアの中の日本2		2		○	○	○		
漢文学1		2		○	○	○		
日本文学4(漢文1)		2			○	○		「漢文学1」を修得済みの場合、履修することはできない。
漢文学2		2		○	○	○		
日本文学5(漢文2)		2			○	○		「漢文学2」を修得済みの場合、履修することはできない。
イスラーム世界と日本		2		○	○	○		
日本の宗教と思想		2		○	○	○		
越境する日本文学		2		○	○	○		
日本文学1(古典)		2			○	○		
日本文学2(近現代)		2			○	○		
同時代文学を読む		2		○	○	○		
幕末史		2		○	○	○		
日本の芸能と文学		2		○	○	○		
日本の伝統文化を発信する		2		○	○	○		
書道1		2		○	○	○		
書道2		2		○	○	○		
国語科教育論1		2		○	○	○		
国語科教育論2		2		○	○	○		

		国語科教育研究1			2			○	○			
		国語科教育研究2			2			○	○			
		第二言語習得			2			○	○			
		言語と心理			2			○	○			
		日本語教授法			2		○	○	○		日本語教師養成プログラム専攻科目	
		日本語教育演習1			2		○	○	○			
		日本語教育演習2			2			○	○			
		日本語教育実習1			1			○	○			
		日本語教育実習2			1			○	○			
		図書館・デジタルアーカイブ活用法			2	○	○	○	○			
		人文学情報検索法			2			○	○			

※教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。

(2) 国際日本学科 開講科目表

履修区分	分野		授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
				必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
必修	必修科目群	演習	Seminar1	2				○	○	○		12単位 「Seminar1」を修得済みの場合、履修することはできない。 「Seminar2」を修得済みの場合、履修することはできない。 「Seminar3」を修得済みの場合、履修することはできない。 「Seminar4」を修得済みの場合、履修することはできない。 「Seminar5」を修得済みの場合、履修することはできない。 「Seminar6」を修得済みの場合、履修することはできない。	
			文献講読	2						○	○		
			Seminar2	2				○	○	○			
			専門演習1	2						○	○		
			Seminar3	2							○		○
			専門演習2	2									○
			Seminar4	2							○		○
			専門演習3	2									○
			Seminar5	2									○
			専門演習4	2									○
			Seminar6	2									○
			専門演習5	2									○
研究		卒業研究	4							○	4単位		
基礎科目コース		クールジャパン学基礎	2				○	○	○		選択したコースか		

	日本文学史1	2			○	○	○	科	<p>「日本文学史1」を修得済みの場合、履修することはできない。</p> <p>「日本文学史2」を修得済みの場合、履修することはできない。</p> <p>「日本文学概説1」を修得済みの場合、履修することはできない。</p> <p>「日本文学概説2」を修得済みの場合、履修することはできない。</p> <p>「国語学史」を修得済みの場合、履修することはできない。</p>
	日本文学史1(古典)	2				○	○	科	
	日本文学史2	2			○	○	○	科	
	日本文学史2(近現代)	2				○	○	科	
	日本文学概説1	2			○	○	○	科	
	日本文学概論1	2				○	○	科	
	日本文学概説2	2			○	○	○	科	
	日本文学概論2	2				○	○	科	
	日本史概説1	2			○	○	○		
	日本史概説2	2			○	○	○		
	日本史概論	2					○		
	国語学史	2			○	○	○	科	
	日本語史	2				○	○	科	
	日本文化史1	2					○		
	日本文化史2	2					○		
	国際特別演習	4			○	○	○		
	国際表現演習	4			○	○	○		
外国語・外国文化科目	世界の言語と文化1(中国語)	2			○	○	○		
	世界の言語と文化2(韓国語)	2			○	○	○		
	世界の言語と文化3(ヨーロッパ諸語)	2			○	○	○		
	世界の言語と文化4(アジア諸語)	2			○	○	○		
	アジアの文学	2					○		
	アジア文化論	2					○		
	西洋文化史1	2					○		
	西洋文化史2	2					○		
	Reading1(EAP)	2		○	○	○	○		
	Reading2(EAP)	2		○	○	○	○		
	Writing1(EAP)	2		○	○	○	○		
	Writing2(EAP)	2		○	○	○	○		
	Communication(EAP)	4			○	○	○		
	English3(Communication)	4				○	○		
								大学が認めた留学生専科科目	
								4単位以上	
								「Communication(EAP)」を習得済	

										ブ 科 目		
笑学 コース 科目	世界のユーモアと日本の笑い	2				○	○	○				
	笑いとコミュニケーション	2				○	○	○				
	落語の世界	2				○	○	○				
	漫才の世界	2				○	○	○				
	狂言の世界	2				○	○	○				
	人形浄瑠璃文楽の世界	2				○	○	○				
	畿内・上方文化論	2						○				
	日本芸能史	2						○				
	近代演劇論	2						○				
	大阪の文学	2				○	○	○				
	大阪・京都の文学	2						○				
	演芸フィールドワーク	2				○	○	○				笑学 コース フィールド ワーク 科目
大阪文化史演習	2				○	○	○					
大阪学	2						○					
日本文化特殊講義1	2						○					
日本文学特殊講義2 (近現代)	2						○					
笑いをマネジメント する	2				○	○	○					
笑学ワークショップ	2						○	○	笑学 コース ワーク シヨ ップ 科目			
日本 学 コース 科目	アジアの中の日本1	2				○	○	○			「アジアの中の 日本1」を修得済 みの場合、履修 することはでき ない。	
	グローバル化と日本	2						○				
	アジアの中の日本2	2				○	○	○				
	グローバルヒストリー	2						○				
	漢文学1	2				○	○	○	科			
	日本文学4(漢文1)	2						○	○			科
	漢文学2	2				○	○	○	科			
日本文学5(漢文2)	2						○	○	科			
											「漢文学1」を修 得済みの場合、 履修することは できない。	
											「漢文学2」を修 得済みの場合、 履修することは できない。	

			イスラーム世界と日本		2			○	○	○			「日本の宗教と思想」を修得済みの場合、履修することはできない。*
			日本の宗教と思想		2			○	○	○			
			日本宗教・思想史		2					○			
			越境する日本文学		2			○	○	○			
			日本文学1(古典)		2				○	○			
			日本文学2(近現代)		2				○	○			
			同時代文学を読む		2			○	○	○			
			文学作品研究		2					○			
			批評理論		2					○			
			日本古代史		2					○			
			日本中世史		2					○			
			幕末史		2			○	○	○			
			日本近世史		2					○			
			日本近現代史		2					○			
			日本の魅力発信フィールドワーク		2			○	○	○		日本コースフィールドワーク科目	
			日本文化フィールドワーク		2					○		日本コースフィールドワーク科目	
			日本の芸能と文学		2			○	○	○		科	
			日本の伝統文化を発信する		2			○	○	○			
			日本学ワークショップ		2				○	○		日本コースワークショップ科目	
選択	選択科目群	国際日本学選択科目	新入生演習			2	○					新入生演習は1年に員修とする	
			書道1			2		○	○	○		科	
			書道2			2		○	○	○		科	
			国語科教育論1			2		○	○	○		科	
			国語科教育論2			2		○	○	○		科	
			国語科教育研究1			2			○	○		科	

		国語科教育研究2		2			○	○	科			
		第二言語習得		2			○	○				
		言語と心理		2			○	○				
		日本語教授法		2		○	○	○		日本教養プログラム専用科目		
		日本語教育演習1		2		○	○	○				
		日本語教育演習2		2			○	○				
		日本語教育実習1		1			○	○				
		日本語教育実習2		1			○	○				
		日本出版文化論		2		○	○	○				
		電子出版入門		2	○	○	○	○			「電子出版入門」を修得済みの場合、履修することはできない。	
		電子出版		2			○	○				
		デジタル・ヒューマニティーズ		2		○	○	○				
		図書館・デジタルアーカイブ活用法		2	○	○	○	○				
		人文学情報検索法		2			○	○				
		Negotiation English		2		○	○	○		学部が認めた留学専用科目		
国際教養学科選択科目												
		英語学概論1		2		○	○	○		「英語音声学1」を修得した場合、履修することはできない。 「英語音声学2」を修得した場合、履修することはできない。 「英文学概論1」を修得した場合、履修することはできない。 「米文学概論1」を修得した場合、履修することはできない。		
		英語学概論2		2		○	○	○				
		英語音声学1		2		○	○	○				
		英語学概説1		2			○	○				
		英語音声学2		2		○	○	○				
		英語学概説2		2			○	○				
		言語情報処理概論1		2		○	○	○				
		言語情報処理概論2		2		○	○	○				
		英語学講義1		2		○	○	○				
		英語学講義2		2		○	○	○				
		英文学概論1		2		○	○	○				
		英文学概論		2			○	○				
		英文学概論2		2		○	○	○				
		米文学概論1		2		○	○	○				
		米文学概論		2			○	○				
		米文学概論2		2		○	○	○				
		イギリス文化講義		2		○	○	○				

		イギリス史			2		○	○	○		「イギリス文化講義」又は「イギリス史」を修得済みの場合、は履修できない。 「アメリカ文化講義」又は「アメリカ史」を修得済みの場合、履修することはできない。
		イギリス歴史・文化講義			2			○	○		
		アメリカ文化講義			2		○	○	○		
		アメリカ史			2		○	○	○		
		アメリカ歴史・文化講義			2			○	○		
		情報科学各論1			2		○	○	○		
		情報科学各論2			2		○	○	○		
		ICTと英語研究			2		○	○	○		
		ICTと英語教育			2		○	○	○		
		留学事前演習			2	○	○	○	○		
		留学特別演習1			2		○	○	○		
		留学特別演習2			2			○	○		
		国際関係演習1			6		○	○	○		
		国際関係演習2			6		○	○	○		
		グローバルリーダーE SP3 (Business communication)			2		○	○	○		
		グローバルリーダーE SP4 (Communication English)			2		○	○	○		
		グローバル言語特殊講義Ⅰ			2				○		
		グローバル言語特殊講義Ⅱ			2				○		
		国際リーダーシップ論			2		○	○	○		
		国際ビジネス論			2		○	○	○		
		市民活動と国際貢献			2		○	○	○		
		国際企業論			2		○	○	○		
		貿易から見る世界			2		○	○	○		
		環境と経済			2		○	○	○		
		インバウンド観光学			2		○	○	○		
		世界の中の日本			2		○	○	○		
		英語と世界の言語			2		○	○	○		
		日本文学を英語で読む			2		○	○	○		
		宗教文化とグローバル化			2		○	○	○		
		世界関係論			2		○	○	○		
		Summer Intensive Session			4	○	○	○	○		
		Spring Session			4	○	○	○	○		

学部が認めた留学専科目

学部が認めた留学専

※教職課程に関する科目であり、「職」は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」、「独」は「大学が独自に設定する科目」、「科」は「教科及び教科の指導法に関する科目」である。